

2018年のNHK大河ドラマは『西郷どん』(読み方:セゴドン)です。主人公は西郷隆盛。歴史に詳しくない方でも一度は名前を聞いたことがあるのではないのでしょうか。東京・上野の高台に愛犬と共に銅像になっている、あの人です。幕末・明治維新で活躍した薩摩藩士で、幕臣・勝海舟と話し合い江戸城無血開城に導いたことは有名な話です。

その西郷隆盛が生まれ育ったのが薩摩藩、現在の鹿児島県です。そして、彼の波乱の人生の終焉の地もまた鹿児島です。維新の三傑の一人として後世に名を残した西郷隆盛を巡る鹿児島周遊のモデルコースプランをご紹介致します。

西郷隆盛ってどんな人？

鹿児島城下の下加治屋町で生まれる。藩士としては最下層の身分の生まれであったが、第11代薩摩藩主・島津斉彬に見出され出世を遂げる。藩命により京都や江戸で活躍するが、斉彬の死後二度の島流しを経験します。その後再び歴史の表舞台に戻り、薩長同盟の成立や戊辰戦争を主導する。明治政府内の征韓論に敗れ、鹿児島に戻った後、日本の歴史上最大にして最後の内戦・西南戦争のリーダーとして、政府軍と戦い、城山にて自刃しその生涯を終える。鹿児島を代表する偉人の一人です。

浴衣着と軍服、2つの西郷像

戊辰戦争で新政府軍を率いた西郷隆盛と旧幕府軍の代表・勝海舟との話し合いで、江戸は無血開城することになりますが、それに反発する旧幕府軍の一部が彰義隊として上野・寛永寺を拠点に抗戦します。現在上野公園の銅像がある辺りは西郷が軍勢を率いて彰義隊に攻め込んだ場所だと言われています。銅像は、明治21年「逆徒」の汚名を解かれたことをきっかけに政府からの資金と元薩摩藩士を中心として集められた寄付金で建てられ、明治31年除幕式が行われました。西郷の没後21年の出来事です。除幕式の際、西郷の妻である糸さんが「宿んしはこげんなお人じゃなかったこてえ(うちの主人はこんなお人じゃなかったですよ)。｣と言ったことで、銅像は実際の西郷さんとは別人だというような話も広まっていますが、糸さんの言いたかったのは「主人は人前に出る時はきちんと正装していて、浴衣着のような軽装ではなかった」という意味が強いようです。昭和になり没後50年を記念して故郷・鹿児島に建てられた西郷の銅像は、陸軍大将の制服姿です。



鹿児島にある軍服の西郷隆盛像

西郷が愛した郷土料理

鹿児島の郷土料理である「とんこつ」が西郷隆盛の好物だったと言われています。「とんこつ」とは骨付きの黒豚肉と黒砂糖、味噌、そして芋焼酎を鍋にいれじっくり煮込んだ料理で、薩摩武士達が戦場などで作ったのが始まりだと言われています。豚肉の臭みを抜き、身をやわらかくする役目もある芋焼酎なしには生まれなかった鹿児島の味でしょう。



その他、鹿児島の郷土料理といえば、その名の通り「さつまあげ」や鮮度が良くないと食べられない「きびなごの刺身」などもありますね。代表銘柄だけでも104種にもものぼる芋焼酎と共に楽しんでみてはいかがでしょうか。



仙巖園
万治元(1658)年、19代島津光久によって築かれた別邸です。錦江湾や桜島を庭園の景観にとり入れた、雄大な景色が仙巖園の最大の魅力。幕末の名君、28代島津斉彬がこよなく愛し、徳川将軍家に嫁いだ篤姫も足を運びました。

参考 ■ 鹿児島を巡るモデルコース

【プラン1】鹿児島と西郷どんの軌跡をめぐる旅

1日目 08:00頃:羽田空港→10:00頃:鹿児島空港→大飼の滝→和氣神社→霧島神社→えびの高原→16:00頃:霧島温泉着(泊)
2日目 09:00頃:旅館→知覧・武家屋敷・知覧特攻平和会館・開聞岳(車窓)・枕崎→開聞岳 JR最南端の駅・西大山駅→指宿(泊) ■指宿砂風呂体験
3日目 08:30頃:旅館→午前:鹿児島市内観光(西郷隆盛誕生地の地下加治屋町・維新ふるさと館・仙巖園・城山公園と西郷隆盛終焉の地南洲洞窟) 午後:桜島→栲志田・黒酢工場→鹿児島空港 16:15頃:鹿児島空港→19:30頃:羽田空港

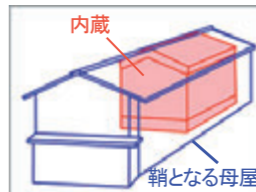
【プラン2】隠れキリシタンの里と

西郷隆盛の軌跡をめぐる旅

1日目 07:30頃:羽田発→09:30頃:長崎空港 坂本龍馬や勤王の志士の活躍した長崎市内観光(グラバー邸、亀山社中、眼鏡橋、原爆資料館など)→諫早水門→雲仙(泊)
2日目 09:00頃:旅館→雲仙ロープウェイ→島原の乱の舞台となった原城址→口之津港(フェリーにて天草(約40分))→鬼池港→大江教会→崎津教会→天草(泊)
3日目 08:30頃:旅館発→牛深港(フェリー(約30分))→蔵之元港→午後:鹿児島市内観光(西郷隆盛誕生地の地下加治屋町・維新ふるさと館・仙巖園・城山公園と西郷隆盛終焉の地南洲洞窟)→18:50頃:鹿児島空港→20:30頃:羽田空港

秋田・横手 奥ゆかしき商家の街並み・増田町

秋田県横手市の南東に位置する増田町は、秋田屈指の豪雪地帯としても知られていますが、江戸時代から物流の拠点として栄え、明治から大正にかけて県内有数の商業地となりました。そして成功を収めた商人たちがこぞって建てたのが「内蔵(うちくら)」です。「鞘」となる母屋で覆われた内部に建てられた豪華な土蔵のことで、現在も40以上の内蔵が約400mほどが町の目抜き通りである「中七日町通り」に集中して残されています。外から見ただけでは、まさかその家の中に立派な蔵が存在するとは思えません。豪雪地帯だからこそ発展した雪国独特の文化だと言えます。



内蔵をはじめとした歴史的建造物が多く残る増田の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。女優・吉永小百合さんが出演している「大人の休日倶楽部」の商業的の撮影舞台にもなりました。白漆喰や黒漆喰磨き上げなど職人の技が光る、雪国だからこそ育まれた文化を観に出かけてみてはいかがでしょうか。

一般公開している伝統的な各家屋は、現在も所有者の方が居住や店舗として利用されています。その為「有料無料」や「常時公開」「予約公開」などは各家屋によって条件が異なります。詳しくは横手市のホームページに公開予定や見学料などが記載されていますので、そちらをご参照ください。

<http://www.city.yokote.lg.jp/>



上: 山吉肥料店の内蔵
職人の技が光る装飾
左: 増田町中七日町通りの町歩きMAP
下: 内蔵の中は見学できる施設と入れない施設があります。



南米エクアドルの魅力



エクアドルは南米大陸の西側に位置し、北側国境をコロンビアに、南側をペルーと接した、日本より一周り小さな国土の国です。国名の『エクアドル』がスペイン語で「赤道」を意味するその名の通り、国土の北寄りを赤道が横切っています。この小さな国土の中に海あり、山あり、ジャングルありと様々な気候の地域があります。大きく4つに分類でき、熱帯雨林地帯のオリエンテ、海岸地帯のコスタ、山岳地帯のシエラ、そして残る一つ、忘れてはいけないのが多くの固有種が独自の進化を続けるガラパゴス諸島です。

ガラパゴス諸島は大小多くの島と岩礁からなる諸島で、名前が付いているだけでも123の島があります。どの大陸にも一度も接した歴史がなく、大型の哺乳類など天敵になる動物も存在しないため、他では見る事のできない固有の進化を遂げた動植物の宝庫となっています。イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンが提唱した進化論のきっかけとなったガラパゴス諸島はゾウガメ、フィンチ、イグアナを始めとした固有種が数多く生息する小動物の楽園です。そして、あまり知られてはいませんが、本土のエクアドルも生物多様性世界一を誇る国となっています。冒頭で説

